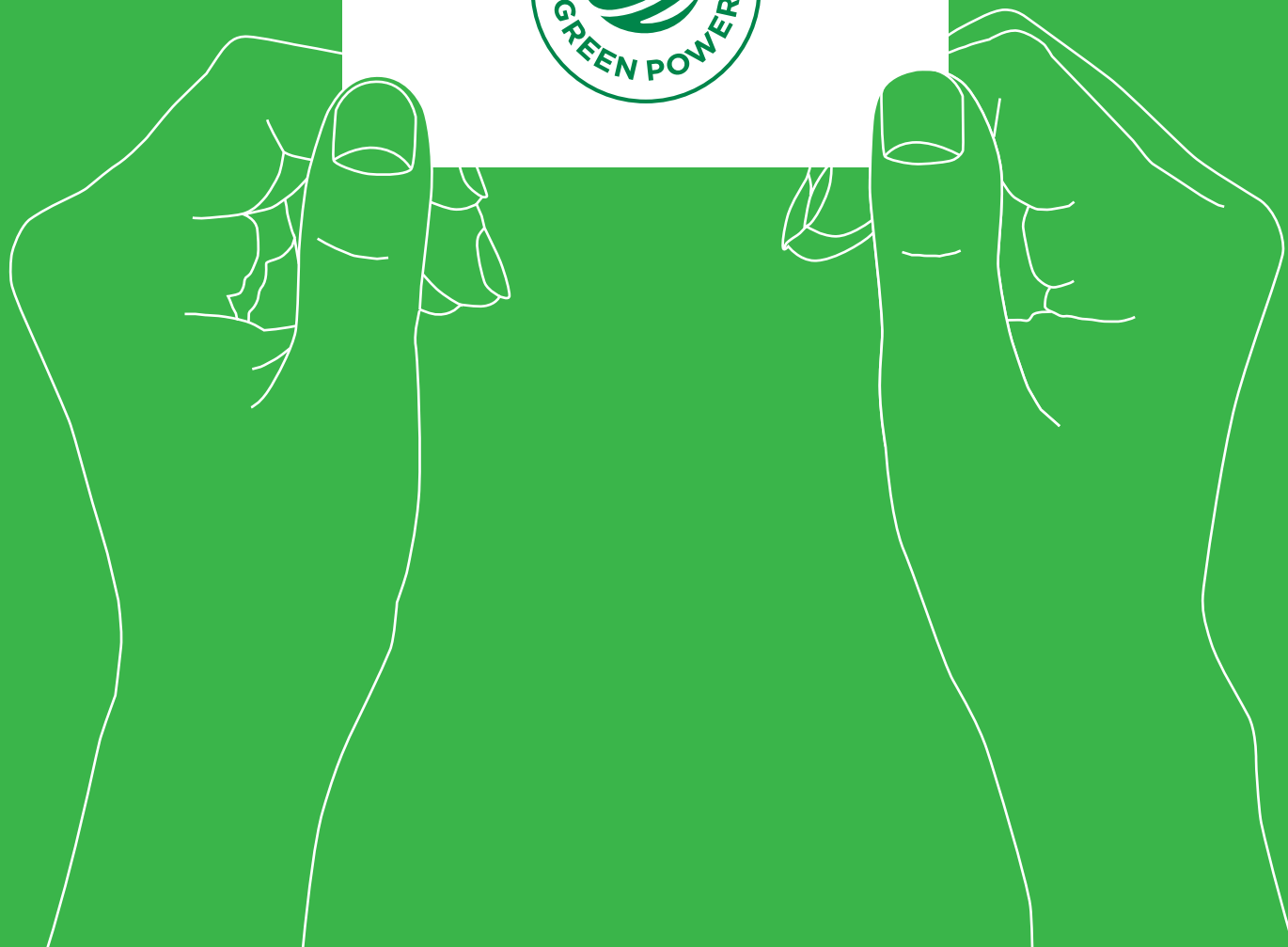




グリーン電力名刺

名刺で地球温暖化対策に
貢献できます



「グリーン電力名刺」で手軽に温暖化対策ができます

「さくらCoC」にグリーン電力マークがつけられる

名刺にグリーン電力マークやPR文を入れることにより、環境に配慮していることをPRすることができ、手軽に温暖化対策に取り組みます。

◎ 製品のラインナップは裏面をご覧ください。

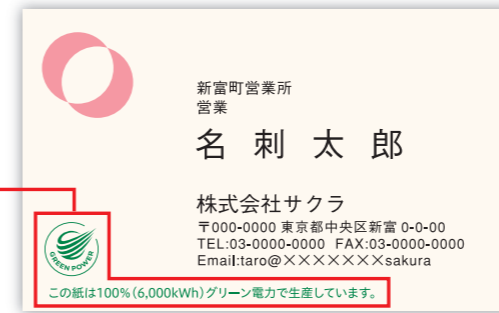
グリーン電力とは

太陽光・風力・水力・バイオマス・地熱などの「再生可能エネルギー」から発電される、環境にやさしい電力のこと。地球温暖化の主な原因となるCO₂を排出しないので、持続可能なエネルギーとして注目されています。



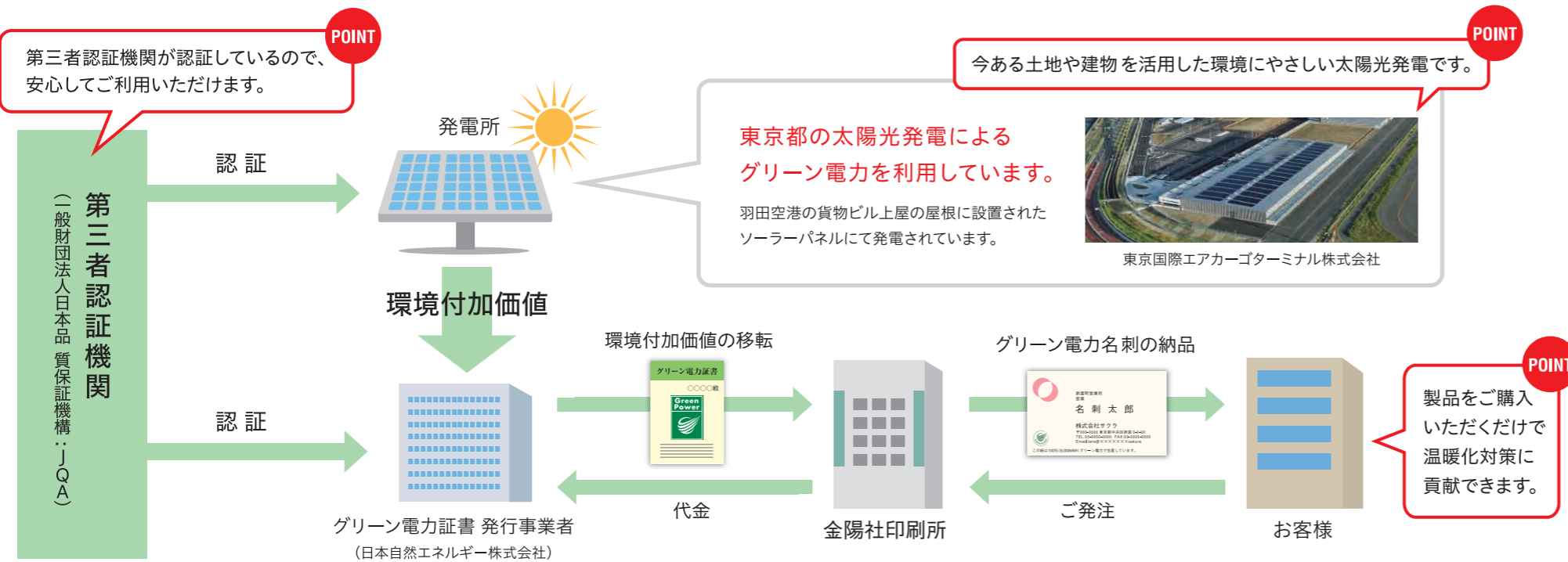
この紙は100% (6,000kWh※) グリーン電力で生産しています。

※2018年度に名刺「さくらCoC」の紙の生産に使用した電力の実績です。



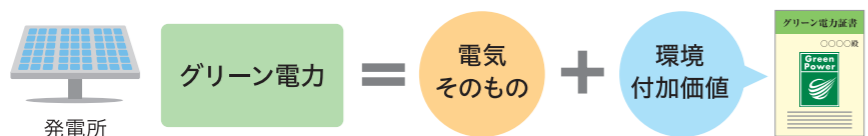
グリーン電力名刺は「グリーン電力証書システム」を通じて実現しています

【グリーン電力証書システム】～グリーン電力名刺をお届けするまでの流れ～

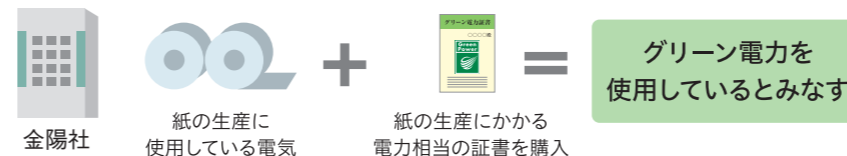


どのように紙の生産でグリーン電力を使用しているのか?

グリーン電力は、「電気そのものの価値」の他に、省エネルギーやCO₂排出抑制といった付加価値を持った電力と言えます。これを「環境付加価値」と呼んでいます。



左の図の「環境付加価値」を電力と切り離して「グリーン電力証書」という形で購入し、紙の生産に使用している電気と組み合わせることで、グリーン電力を使用しているとみなします。

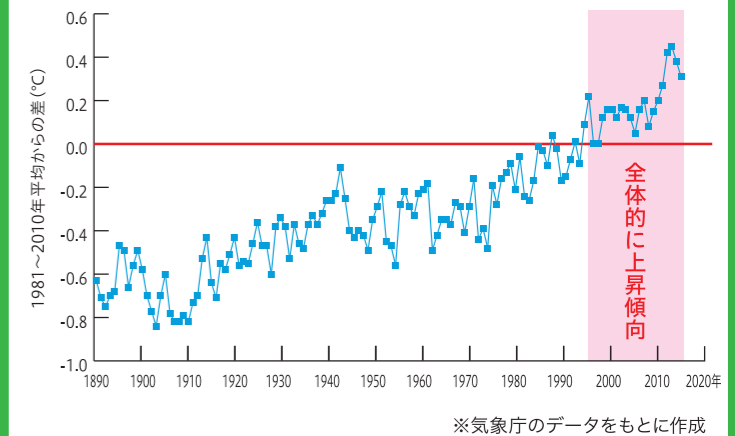


なぜ今、温暖化対策が必要なのか?

① 気温の上昇

近年の気候変動は温暖化による影響が大きく、今のままではさらなる気温上昇などの問題が予測されています。こうした現状から、2015年に採択されたパリ協定では、温室効果ガス削減に関する国際的な取り決めが行われ、国ごとに「温室効果ガス削減・抑制目標」を立てることとなりました。温暖化対策は、今や世界共通の目標であり、一人一人が取り組むべきことでもあるのです。

【世界の年平均気温偏差 (各年の平均気温の基準値からの偏差)】



② 日本の取組み

日本は2030年までに再生可能エネルギーによる発電を全体の22～24%にすることを目標に掲げています。石油・石炭など化石燃料由来のエネルギーはCO₂を多く排出しますが、再生可能エネルギー由来の「グリーン電力」はCO₂を排出しません。省エネルギーと並んで、再生可能エネルギーは温暖化対策の重要な柱となっています。

【日本の発電電力量の構成】

